２０２５年（令和７年）　９月４日　木曜日

デーリー東北　９面　掲載

秋季高校野球青森県大会

あす3球場で開幕

来春のセンバツにつながる秋季東北地区高校野球青森県大会が5日、県内各地で開幕する。東北大会（10月9日開幕・岩手県）の出場権3枠を懸け、44チームが熱戦を繰り広げる。

優勝候補に挙がるのは、好投手の北口晃大を擁する八学光星と3年連続のセンバツを目指す青森山田。今夏の甲子園に出場した弘学聖愛や弘前東、工大一といった強豪私立のほか、三沢商なども虎視眈々（たんたん）と上位進出を狙っている。

開幕を目前に控えた3日、各チームは初戦に向けて調整。7日の2回戦から登場する八学光星ナインは、同校グラウンドで守備練習などに汗を流した。北口は「優勝が目標。全員が同じ方向を向いて戦っていきたい」と意気込みを示した。

初日は八戸長根など県内3球場で1回戦計6試合を実施。3位決定戦と決勝は9月21日に県営球場で行う。（千葉達也）

実戦形式の練習で調整する八学光星ナイン＝3日、同校グラウンド

あすの試合

▽1回戦

【八戸長根】

弘前南－八戸東（10・00）

名農・大間－青森南（12・30）

【六戸メイプル】

ウルスラ黒石（10・00）

三農恵拓－八戸北（12・30）

【弘前はるか夢】

三沢－上北連合（10・00）

青森－青森工（12・30）

デーリー東北新聞社提供